

## NEWS RELEASE

2021年1月29日  
株式会社三菱総合研究所

## 2020年10-12月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より2月15日(月)に公表予定の2020年10-12月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2020年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比+1.4%(年率+5.6%)と予測します。

2020年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比+1.4%(年率+5.6%)と回復は継続するものの、前期(季節調整済前期比+5.3%(年率+22.9%))の大幅なプラス成長からは減速を予想する。実質GDPの水準は、コロナ危機前(2019年10-12月期)より3%程度低い水準にとどまる見込み。

民間最終消費は、同+0.4%の増加を予測する。外出抑制度合いの緩和やGoToキャンペーンなどの政策支援が消費を下支えした。ただし、雇用・所得環境が弱いこと、11月以降大都市圏を中心に感染が再拡大、20年末にかけては営業・外出自粛などもみられたことから、弱い回復にとどまる見込み。民間企業設備投資は、製造業を中心とした業績の持ち直しを背景に、コロナ発生直後に見合わせていた設備投資を再開する動きもあるとみられ、同+3.4%と3四半期ぶりの増加を予測する。

輸出は、中国向けを中心とする海外需要の回復を背景に、同+6.8%と2四半期連続の増加を予測する。輸入は、内需の持ち直しにより同+4.6%と増加を予測する。結果として、外需の寄与度は+0.3%ポイントを見込む。

図表 2020年10-12月期 GDP速報 予測結果

単位：断りが無い限り 季調済前期比(%)		2020年			
		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 予測
実質GDP	季調済前期比年率	▲ 0.5 (▲2.1)	▲ 8.3 (▲29.2)	5.3 (22.9)	1.4 (5.6)
民間最終消費		▲ 0.6	▲ 8.3	5.1	0.4
民間住宅投資		▲ 3.7	0.5	▲ 5.8	0.2
民間企業設備投資		1.4	▲ 5.7	▲ 2.4	3.4
民間在庫	寄与度	0.1	0.1	▲ 0.2	0.0
政府最終消費		▲ 0.3	0.3	2.8	1.2
公的固定資本形成		0.0	1.9	0.5	0.9
財・サービス輸出		▲ 5.3	▲ 17.1	7.0	6.8
財・サービス輸入		▲ 3.1	1.4	▲ 8.8	4.6
内需	寄与度	▲ 0.2	▲ 5.2	2.6	1.0
民需	寄与度	▲ 0.1	▲ 5.3	1.9	0.7
公需	寄与度	0.0	0.1	0.7	0.3
外需	寄与度	▲ 0.4	▲ 3.1	2.7	0.3
名目GDP	季調済前期比年率	▲ 0.5 (▲1.8)	▲ 7.9 (▲28.1)	5.5 (23.9)	1.7 (7.1)
GDPデフレーター	前年同期比	0.9	1.4	1.2	1.2
国内需要デフレーター	前年同期比	0.8	0.0	0.2	0.0

注：表中の実績値は2020年7-9月期2次QE。シャドー部分が今回の予測値。  
出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所  
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 田中康就 綿谷謙吾  
電話:03-6858-2717 メール:macro-ml@mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部  
電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp